

# 事業カルテ ( 4年度決算 )

子育て支援課

10-04-01-991

子育て支援施設等利用教育給付費

## ◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	子ども・子育て支援法			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	子育て・子育てをみんなで支え、子どもたちの明るい声がひびくまち				
	政策	A1	子どもを育てることがうれしいと思えるまちづくり			
	施策	2	子育て家庭への支援			
	関連する施策	A1-1	A1-3	-	-	-
関連する個別計画	多摩市子ども・子育て・若者プラン					
関連する報告書など	—					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	令和元年10月より子ども・子育て支援法が一部改正され、幼児教育・保育無償化が始まり「子育てのための施設等利用給付費」制度を開始した。給付認定を受けた幼稚園・認定こども園・認可外保育施設等に通う幼児(満3歳児から5歳児クラス)と認可外保育施設等に通う非課税世帯の乳児(0歳児から2歳児クラス)の保育料等の軽減措置を行った。					

## ◇令和4年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	令和元年度
事業の目的、 令和4年度の目標	現行制度幼稚園等の子ども・子育て支援施設等を利用する保護者の負担軽減を行うことにより、幼児教育の振興と充実を図る。	
予算の執行方法	子ども・子育て支援施設等を利用した保護者もしくは施設に対し、幼児教育・保育の無償化における費用を給付した。	
事業の成果	生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児期の教育の重要性や、幼児教育・保育に係る家庭の経済的負担の軽減を行うことで、幼児教育の振興と充実を図った。	

## ◇事業にかかる費用

区 分	平成30年度(決)	令和元年度(決)	令和2年度(決)	令和3年度(決)	令和4年度(決)	
決算額(単位:千円)	0千円	111,772千円	218,869千円	248,666千円	205,023千円	
事業にかかる実コスト	0千円	115,634千円	221,799千円	253,221千円	208,758千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0千円	55,886千円	107,286千円	97,613千円	88,497千円
	都支出金	0千円	27,943千円	53,643千円	48,807千円	44,249千円
	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	その他特定財源	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	一般財源	0千円	27,943千円	57,940千円	102,246千円	72,277千円
間接経費						
職員人件費	0千円	3,862千円	2,930千円	4,555千円	3,735千円	
《従事人員数》	0.00人	0.45人	0.35人	0.55人	0.45人	
その他の人件費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	

## ◇成果指標

指標の種類	指標について		令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標 (アウトプット)	対象幼稚園	目標	34園	—	—
		結果	29園	—	—
成果指標 (アウトカム)	対象延べ人数	目標	9,040人	—	—
		結果	7,660人	—	—

### 特記事項

本事業は活動指標と成果指標の目標値を定めることがなじまないため、令和4年度より目標設定を行わないこととした。

## ◇自己点検

の 成果 推移 指標	今後の見通し		方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量 的	財 源 般		
N	B	B	イ	幼児教育を受ける機会の拡充につながるため、引き続き給付を行い、幼児教育・保育の無償化による経済的な負担の軽減を図っていく。

10-04-01-991

## 子育て支援施設等利用教育給付費

## ◇ 執行状況及び成果等

## 1 対象延べ人数

(人)

	元年度	2年度	3年度	4年度
市内幼稚園	3,126	5,992	5,379	5,089
市外幼稚園	1,318	2,483	2,281	1,869
合計	4,444	8,475	7,660	6,958

## 2 給付額

(円)

	元年度	2年度	3年度	4年度
市内幼稚園	78,762,550	151,498,250	136,551,620	129,229,745
市外幼稚園	33,010,200	63,074,320	58,186,480	47,765,461
合計	111,772,750	214,572,570	194,738,100	176,995,206

※1人あたり/月額上限25,700円

# 事業カルテ ( 4年度決算 )

文化・生涯学習推進課

10-05-01-632

文化関係団体育成費

## ◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	文化芸術基本法、社会教育法、多摩市みんなの文化芸術条例			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち				
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり			
	施策	1	誰もがいきいきと学び、活動する環境づくり			
	関連する施策	C2-2	C2-3	-	-	-
関連する個別計画	第4次多摩市生涯学習推進計画					
関連する報告書など	-					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	平成14年度の要綱改正により、補助金を概算払いに変更し、申請日を早めることにより、年度当初からの活動が行えるようにした。また、平成18年度より多摩市民文化祭等を業務委託とし、多摩市文化団体連合の自立的活動を支援した。多摩市民文化祭とともに委託していた文化フォーラムについて内容を見直し、多摩市文化団体連合の自主事業として実施する整理を行った。					

## ◇令和4年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成13年度以前
事業の目的、 令和4年度の目標	<p>【事業の目的】 社会教育関係団体の事業及び運営に要する費用の一部を補助することにより、市民文化の振興を図る。また、市民文化祭の企画運営を委託することにより、団体相互の交流を促し、市民文化の発展を図る。</p> <p>【令和4年度の目標】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況に配慮しつつ、多摩市民文化祭への若い世代の参加を促進する方法等について検討し、参加団体数や参加者数の維持・増加に繋げる。 また、令和4年は、市制施行50周年記念文化イベント事業を委託し、全市をあげて市制施行50周年を祝うとともに、多摩市文化団体連合設立50周年を迎えることから、団体との協力、連携体制をより深め、更なる文化・芸術の発展・振興を図る。</p>	
予算の執行方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体事業費及び運営費の補助</li> <li>・多摩市民文化祭業務委託費</li> <li>・市制施行50周年記念文化イベント事業業務委託</li> </ul>	
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第45回多摩市民文化祭を多摩市文化団体連合に委託し、実行委員会方式で実施することで市民文化の振興と、参加した市民団体同士の交流を促進することが出来た。</li> <li>・市制施行50周年記念文化イベントを多摩市文化団体連合に業務委託し、7月に行われた市制施行50周年記念式典に合わせてパルテノン多摩にて「歌と踊りの祭典」と「日本の伝統文化体験」を行った。ふるさと多摩の歴史や芸術・文化に触れる機会とし、多摩市の文化・芸術活動の更なる発展向上と文化継承に寄与した。</li> </ul>	

## ◇事業にかかる費用

区 分	平成30年度(決)	令和元年度(決)	令和2年度(決)	令和3年度(決)	令和4年度(決)	
決算額(単位:千円)	3,400	3,400	3,400	3,400	4,400	
事業にかかる実コスト	5,080	5,546	7,586	8,370	8,965	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都支出金	1,021	995	1,200	1,200	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	1,000
	一般財源	2,379	2,405	2,200	2,200	3,400
	間接経費					
職員人件費	1,680	2,146	4,186	4,970	4,565	
《従事人員数》	0.20人	0.25人	0.50人	0.60人	0.55人	
その他の人件費	0	0	0	0	0	

## ◇成果指標

指標の種類	指標について		令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標 (アウトプット)	多摩市民文化祭参加団体	目標	30団体	30団体	30団体
		結果	19団体	26団体	—
成果指標 (アウトカム)	多摩市民文化祭の事業参加者数	目標	13,500人	13,500人	13,500人
		結果	8,645人	12,943人	—

特記事項

—

## ◇自己点検

の 成 果 推 移 指 標	今後の見通し		方 今 向 後 の 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量 的	財 源 的		
B	B	B	イ	より多くの市民が市民文化に触れ、芸術・歴史・文化に親しみ、新たな関心を生み出す機会を提供するため、多摩市文化団体連合及び市民文化祭参加者の世代交代や拡大を見据え、多摩市文化団体連合と連携して今後の事業について検討していく。

10-05-01-632	文化関係団体育成費
--------------	-----------

## ◇ 執行状況及び成果等

## 補助金交付額の推移

(単位:円)

年度	30	元	2	3	4
交付団体 多摩市文化団体連合	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000

&lt; 補助金を充当した経費の内訳 &gt;

## 1. 人件費

支払い賃金補助金充当額

(事務局員2名分) 800,000円

## 2. その他経費

広報費 (「多摩の文化52・53号」製本、求人広告) 200,000円

# 事業カルテ ( 4年度決算 )

児童青少年課

10-05-01-635

放課後子ども教室事業

## ◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	—			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	子育て・子育てをみんなで支え、子どもたちの明るい声がひびくまち				
	政策	A1	子どもを育てることがうれしいと思えるまちづくり			
	施策	3	子育て・子育てを育む地域づくり			
	関連する施策	A1-1	A1-2	—	—	—
関連する個別計画	「多摩市子ども・子育て・若者プラン」「新・放課後子ども総合プラン」					
関連する報告書など	—					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	文部科学省及び厚生労働省両省が連携した総合的な放課後対策を推進するため、放課後子どもプラン推進事業を実施することとなり、放課後子ども教室を開始した。安全管理マニュアルの配布、青少年委員との意見交換、教室見学会、応急救護講習会、教室通信の発行等を実施して、安全管理の改善や指導育成方法の向上等を図った。平成27年度に国において放課後子ども総合プランが策定され、一体型の運営を推進した。平成30年9月に学童クラブと放課後子ども教室の両事業の計画的な整備等を推進するため、新・放課後子ども総合プランが策定された。					

## ◇令和4年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成19年度
事業の目的、 令和4年度の目標	放課後における子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て拠点を運営し、遊びやスポーツ・文化活動をはじめ地域の方々との交流活動等の取り組みを推進する。また、令和5年度より開始した法人委託化による影響を多角的に検討していく。	
予算の執行方法	運営委員、コーディネーター及び各放課後子ども教室の安全サポートスタッフへの謝金、運営法人への委託費、消耗品等を執行した。	
事業の成果	放課後における子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)をつくることで、子どもの健全育成に必要な環境を整備することにつながった。地域の方々との交流活動等に取り組むことで「地域コミュニティの醸成」を深めることができた。放課後の子どもの居場所としての役割を果たした。	

## ◇事業にかかる費用

区 分	平成30年度(決)	令和元年度(決)	令和2年度(決)	令和3年度(決)	令和4年度(決)	
決算額(単位:千円)	7,719 千円	7,263 千円	534 千円	828 千円	2,500 千円	
事業にかかる実コスト	12,759 千円	12,412 千円	5,557 千円	4,969 千円	8,724 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	4,073 千円	3,761 千円	74 千円	539 千円	1,664 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	3,646 千円	3,502 千円	460 千円	289 千円	836 千円
	間接経費					
職員人件費	5,040 千円	5,149 千円	5,023 千円	4,141 千円	6,224 千円	
《従事人員数》	0.60 人	0.60 人	0.60 人	0.50 人	0.75 人	
その他の人件費	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	

## ◇成果指標

指標の種類	指標について		令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標 (アウトプット)	実施教室数	目標	17ヶ所	17ヶ所	17ヶ所
		結果	12ヶ所	14ヶ所	—
成果指標 (アウトカム)	子どもの延べ参加者数人数	目標	30,000人	30,000人	40,000人
		結果	3,582人	10,616人	—

特記事項

—

## ◇自己点検

成果指標の推移	今後の見通し	方今向後の	今後の課題や方向性に関するコメント
ニ ー メ ー ズ	量的	財 一 源 般	他市と比較し実施日数が少ない現状を改善するため、外部委託化を含め新たな運営方法についての検討を進めていく。
C	A	A	
		ウ	

10-05-01-635

放課後子ども教室事業

◇ 執行状況及び成果等

1. 執行状況

(単位:円)

内 訳	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
運営委員謝礼	37,000	31,000	51,000	3,000	0
安全管理員謝礼	4,491,500	4,313,500	88,000	580,500	2,244,000
消耗品	851,271	627,832	91,302	244,272	253,408
電話料	15,576	6,701	—	—	—
委託料	2,323,879	2,284,228	303,613	0	0
タクシー借上料	0	0	0	0	2,900
備品購入費	—	—	—	—	—
合 計	7,719,226	7,263,261	533,915	827,772	2,500,308

2. 事業実施状況

実施校名	30年度		元年度		2年度		3年度		4年度	
	実施日数	延べ参加児童数	実施日数	延べ参加児童数	実施日数	延べ参加児童数	実施日数	延べ参加児童数	実施日数	延べ参加児童数
南鶴牧小学校	47	4,681	38	4,140	0	0	2	180	28	1,880
多摩第一小学校	8	935	11	1,390	0	0	2	148	10	665
瓜生小学校	38	2,516	34	2,202	8	155	22	1,054	34	1,967
多摩第三小学校	68	2,278	60	2,082	0	0	9	221	17	285
東寺方小学校	22	2,005	23	2,215	0	0	5	381	7	453
聖ヶ丘小学校	48	2,804	47	3,155	0	0	0	0	0	0
東愛宕中学校	24	150	—	—	—	—	—	—	—	—
東落合小学校	32	546	29	549	0	0	0	0	17	111
連光寺小学校	27	751	24	595	0	0	0	0	16	158
諏訪小学校	48	1,308	48	936	0	0	7	107	20	198
西落合小学校	20	782	18	902	0	0	10	713	29	2,135
豊ヶ丘小学校	35	2,166	27	1,874	0	0	6	321	23	1,020
永山小学校	36	2,554	36	2,306	0	0	12	215	28	1,064
貝取小学校	14	948	8	373	0	0	4	149	7	292
愛和小学校	91	4,042	83	3,417	0	0	1	84	0	0
大松台小学校	2	39	15	115	0	0	1	9	14	110
北諏訪小学校	—	—	1	14	0	0	0	0	25	278
多摩第二小学校	—	—	—	—	1	30	0	0	0	0
合 計	560	28,505	502	26,265	9	185	81	3,582	275	10,616

# 事業カルテ ( 4年度決算 )

児童青少年課

10-05-01-636

二十歳のつどい

## ◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	—			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	子育て・子育てをみんなで支え、子どもたちの明るい声がひびくまち				
	政策	A1	子どもを育てることがうれしいと思えるまちづくり			
	施策	1	子どもの健やかな成長への支援			
	関連する施策	A1-2	—	—	—	—
関連する個別計画	—					
関連する報告書など	—					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	成人の日は国民の祝日に関する法により「大人になったことを自覚し自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます」記念すべき日として制定された。式典の企画運営は、平成14年度から新成人で組織された実行委員会が主体となって行い、一生に一度の成人式を自分たちの手で作り上げ、仲間同士の連帯感を持ちながら若者らしい感性で式典を盛り上げてきた。令和4年度から成人年齢が18歳に引き下げられたが、多摩市では引き続き20歳を対象に式典を開催する。式典の名称は令和5年の実行委員会での決定により「二十歳の祝賀祭」となった。					

## ◇令和4年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和4年度の目標	新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら、当該年度中に20歳を迎える若者に対して、大人になったことを自覚し自ら生き抜こうとする青年として祝い励ますため、国民の祝日である成人の日に「二十歳の祝賀祭」を挙げる。
予算の執行方法	式典内容を企画し、会場設営や管理等の業務委託料を執行した。 会場使用料や実行委員会の運営に必要な諸経費を執行した。
事業の成果	実行委員自らが企画した内容で実施することで、仲間同士の連帯感が生まれるとともに、一生に一度の思い出深い、心に残る式典となった。また、実行委員会として主体的に参画することで、一致団結して作り上げることの喜びや達成感を味わい、青年期の貴重な社会経験の場となった。

## ◇事業にかかる費用

区 分	平成30年度(決)	令和元年度(決)	令和2年度(決)	令和3年度(決)	令和4年度(決)	
決算額(単位:千円)	3,678千円	3,965千円	4,750千円	4,316千円	3,895千円	
事業にかかる実コスト	7,458千円	7,827千円	8,517千円	8,043千円	7,630千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	都支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	その他特定財源	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	一般財源	3,678千円	3,965千円	4,750千円	4,316千円	3,895千円
間接経費						
職員人件費	3,780千円	3,862千円	3,767千円	3,727千円	3,735千円	
《従事人員数》	0.45人	0.45人	0.45人	0.45人	0.45人	
その他の人件費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	

## ◇成果指標

指標の種類	指標について		令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標 (アウトプット)	実行委員会による企画・運営 ※委員選出2人×9校 ※開催回数2回×4ヶ月+2回(リハ・本番)	目標	18人×10回	18人×10回	18人×10回
		結果	17人×9回	17人×9回	—
成果指標 (アウトカム)	出席人数÷成人対象者=出席率 ※成人対象者想定:約1,400人	目標	63%	64%	64%
		結果	61%	61%	—

特記事項

—

## ◇自己点検

の 成 果 指 標 推 移	今後の見通し		方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	二 量 的	財 源 般		
B	B	B	イ	新型コロナウイルス感染症の対策で、令和3～4年度の2年間2部開催としていたが、令和5年度から従来の1回開催に戻す。式典・イベント内容は見直しを続け、参加者のニーズに沿った式典にしていく。

10-05-01-636	二十歳のつどい
--------------	---------

◇ 執行状況及び成果等

	対象者	参加者	参加率	出演者等	経費(業務委託料) 実施日時 会場	
平成30年度	男性	722人	395人	54.71%	○イベント：抽選会、スライドショー 成人の主張等	2,916,000円 平成31年 1月14日 多摩永山情報教育センター ホール
	女性	714人	422人	59.10%		
	合計	1,436人	817人	56.89%		
令和元年度	男性	759人	489人	64.43%	○イベント：ロシアンルーレット スライドショー 成人の主張等	3,190,000円 令和2年 1月13日 多摩永山情報教育センター ホール
	女性	660人	421人	63.79%		
	合計	1,419人	910人	64.13%		
令和2年度	男性	705人			オンライン開催(YOUTUBEライブ配信) 視聴回数3,638回(アーカイブ含む) ライブ同接最大305人(平均250人) 市長式辞 市議会議長祝辞 OP動画、恩師ビデオメッセージ	3,946,400円 令和3年 1月11日 リンクフォレストホール
	女性	691人				
	合計	1,396人				
令和3年度	男性	730人	466人	63.84%	オンライン中継(YOUTUBEライブ配信) 視聴回数4,431回(アーカイブ含む) 式辞、OP動画、恩師ビデオメッセージ お楽しみ抽選会	3,531,000円 令和4年 1月10日 リンクフォレストホール
	女性	718人	414人	57.66%		
	合計	1,448人	880人	60.77%		
令和4年度	男性	750人	461人	61.47%	オンライン中継(YOUTUBEライブ配信) 視聴回数3,052回(アーカイブ含む) 式辞、OP動画、恩師ビデオメッセージ お楽しみ抽選会	3,069,000円 令和5年 1月 9日 パルテノン多摩
	女性	663人	407人	61.39%		
	合計	1,413人	868人	61.43%		



# 事業カルテ ( 4年度決算 )

教育振興課

10-05-01-637

文化財保護審議会費

## ◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	文化財保護法、地方自治法、多摩市文化財保護条例			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなが楽しみながら地域づくりを進めるまち				
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり			
	施策	3	文化の継承と創造			
	関連する施策	-	-	-	-	-
関連する個別計画	第二次多摩市教育振興プラン					
関連する報告書など	多摩市の教育					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	昭和47(1972)年度に文化財専門委員会として発足。多摩市文化財保護条例に基づき、昭和61(1986)年度から審議会設置。平成16(2004)年度に会議回数を年間6回から5回へ、委員を10名から9名に見直した。平成26(2014)年度から多摩ふるさと資料館開館に向けた審議を始めた(令和4年4月1日開館)。					

## ◇令和4年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和4年度の目標	文化財保護審議会は教育委員会の諮問に応じ、文化財の保存及び活用に関する重要事項を調査審議し、これらの事項について教育委員会に建議することを所掌事務としている。 令和4(2022)年度は、指定文化財候補の調査、文化財保存措置に関する指導、指定文化財の指定に向けた考え方や手続き等の整理、文化財保護に関する各種事業等への指導を予定している。
予算の執行方法	文化財保護審議会委員報酬(9人)、指定文化財等調査指導謝礼
事業の成果	令和4(2022)年度は定例会5回(うち書面会議1回)開催。国登録有形文化財及び都指定史跡の保存・活用における今後の方向性、市指定文化財に対する補助金交付基準、都指定史跡「稲荷塚古墳」の暫定整備等に関する協議及び指導を行った。

## ◇事業にかかる費用

区 分	平成30年度(決)	令和元年度(決)	令和2年度(決)	令和3年度(決)	令和4年度(決)	
決算額(単位:千円)	577千円	658千円	386千円	409千円	458千円	
事業にかかる実コスト	3,097千円	3,233千円	1,512千円	3,308千円	3,363千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	都支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	その他特定財源	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	一般財源	577千円	658千円	386千円	409千円	458千円
	間接経費					
職員人件費	2,520千円	2,575千円	586千円	2,899千円	2,905千円	
《従事人員数》	0.30人	0.30人	0.07人	0.35人	0.35人	
その他の人件費	0千円	0千円	540千円	0千円	0千円	

## ◇成果指標

指標の種類	指標について		令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標 (アウトプット)	審議会回数	目標	8回	6回	4回
		結果	4回	5回	—
成果指標 (アウトカム)	協議、審議、調査、視察調査件数等	目標	15件	14件	10件
		結果	5件	11件	—

特記事項

—

## ◇自己点検

成果 推移 指標	今後の見通し		方 今 向 後 の 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量 的	財 源 般		
B	B	B	イ	国登録有形文化財等の活用方針の策定に向けた協議を中心に審議を進める。

10-05-01-637	文化財保護審議会費
--------------	-----------

## ◇ 執行状況及び成果等

## 1 多摩市文化財保護審議会委員(敬称略)

令和5年3月末日時点

氏名	専門分野	氏名	専門分野
浜田 弘明 (会長)	人文地理	加藤 幸治	民俗学・民具学
渡辺 洋子 (副会長)	建築	鎌倉 佐保	中世史
青木 敬	考古学	桜井 昭男	近世・近代史
内野 秀重	自然史・植物	横倉 敏郎	地域史
江里口 友子	日本美術史・東洋美術史		

## 2 審議会開催状況

回	開催日	協議事項・現地視察の状況
第1回	令和4年 5月31日(火)	①会長・副会長の選出 ②令和4年度多摩市文化財保護審議会の協議予定等について ③多摩市学びあい育ちあい推進審議会委員の推薦について ④多摩ふるさと資料館見学
第2回	令和4年 8月23日(火)	①国登録有形文化財及び都指定史跡の今後の方向性について ②市指定文化財に対する補助金交付基準等について
第3回	令和4年 10月7日(金)	①現地視察(東京都指定史跡「稲荷塚古墳」) ②東京都指定史跡「稲荷塚古墳」の暫定整備について
第4回	令和4年 12月20日(火)	①東京都指定史跡「稲荷塚古墳」の暫定整備について ②市指定文化財に対する補助金交付基準等について
第5回	令和5年 2月10日(金) (書面開催)	①令和5年度多摩市文化財保護審議会の協議予定等について

# 事業カルテ ( 4年度決算 )

教育振興課

10-05-01-638

文化財保護事業

## ◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	文化財保護法、地方自治法、多摩市文化財保護条例			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち				
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり			
	施策	3	文化の継承と創造			
	関連する施策	-	-	-	-	-
関連する個別計画	第二次多摩市教育振興プラン					
関連する報告書など	多摩市の教育					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	市内文化財の保護・保存を図るため、昭和47年に多摩市文化財保護条例を制定し、昭和48年の文化財指定を皮切りに、文化財の適切な保護・保存に取り組んでいる。 令和4年度は「多摩市立多摩ふるさと資料館」を開館し、文化財資料を活用して収蔵・展示を開始した。					

## ◇令和4年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和4年度の目標	文化財の保存及び活用のために必要な措置を講じ、もって市民文化の向上に資する。郷土の文化に対する市民の理解促進に努め、後世に継承するため、文化財資料の保存・保護等を目的として事業を実施する。
予算の執行方法	市指定文化財公開謝礼、文化財調査指導等謝礼、文化財記録撮影業務委託料、草刈業務委託料、指定文化財保存措置業務委託料等
事業の成果	文化財資料の保存・保護等を目的とした事業を実施するとともに、東京都埋蔵文化財センターとの共催による講演会を開催した。また、都指定天然記念物「平久保のシイ」と連光寺八坂神社内、一本杉公園内の市指定天然記念物「スダジイ」に対して、ナラ枯れ防止対策として薬剤散布を実施した。

## ◇事業にかかる費用

区 分	平成30年度(決)	令和元年度(決)	令和2年度(決)	令和3年度(決)	令和4年度(決)	
決算額(単位:千円)	7,632 千円	11,080 千円	6,392 千円	10,504 千円	1,812 千円	
事業にかかる実コスト	21,105 千円	24,623 千円	19,502 千円	19,438 千円	8,394 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	25 千円	90 千円	6 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	737 千円	834 千円	0 千円	147 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	0 千円	311 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	6,870 千円	9,845 千円	6,386 千円	10,357 千円	1,812 千円
間接経費						
職員人件費	10,081 千円	10,299 千円	7,785 千円	5,963 千円	5,975 千円	
《従事人員数》	1.20 人	1.20 人	0.93 人	0.72 人	0.72 人	
その他の人件費	3,392 千円	3,244 千円	5,325 千円	2,971 千円	607 千円	

## ◇成果指標

指標の種類	指標について		令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標 (アウトプット)	施設公開・見学、展示会・講座等事業回数	目標	15回	—	—
		結果	6回	—	—
成果指標 (アウトカム)	事業・施設来場者数	目標	5,000人	—	—
		結果	7,410人	—	—

## 特記事項

講座等の予算・指標は「ふるさと資料館管理運営事業」に移行。市指定文化財を中心に保護・保存措置、害虫駆除、草刈等の環境整備等が主な事業となることから活動及び成果指標は設定しない。

## ◇自己点検

成果 の 推移 指標	今後の見通し		方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量 的	財 源 的		
B	B	B	イ	市内の登録文化財の保存活用計画の策定を検討していく。

10-05-01-638	文化財保護事業
--------------	---------

## ◇ 執行状況及び成果等

## 1 市指定文化財

	名称	所在地
有形文化財	1 関戸文書(2通)	落合2-35(パルテノン多摩収蔵庫)
	2 旧多摩聖蹟記念館	連光寺5-1-1(都立桜ヶ丘公園内)
	3 旧有山家住宅	南野2-13(一本杉公園内)
	4 調布玉川惣画図	落合2-35(パルテノン多摩収蔵庫)
有形民俗文化財	1 阿弥陀三尊来迎板碑	落合2-35(パルテノン多摩収蔵庫)
	2 念仏供養板碑	貝取1-15-15
	3 麦花塚	貝取1-18-1
	4 庚申塚	貝取1-18-1
	5 地藏菩薩像	貝取1-18-1
	6 阿弥陀如来像	貝取1-18-1
	7 落合白山神社の三匹獅子舞用具	落合2-2-1(落合白山神社)
	8 地藏菩薩像	鶴牧2-25-17
天然記念物	1 ケヤキ	連光寺1-8-9(連光寺春日神社)
	2 ムクノキ	連光寺6-6(連光寺白山神社)
	3 スダジイ	連光寺6-19(連光寺八坂神社)
	4 シダレザクラ	鶴牧2-22-5(鶴牧西公園内)
	5 スダジイ	南野2-14(一本杉公園内)
	6 ケヤキ	豊ヶ丘1-21-3(子育て総合センター内)

## 2 東京都埋蔵文化財センター共催事業

事業名	日程	来場者数
文化財講演会「多摩の古墳探訪」 (東京都立埋蔵文化財調査センター)	令和5年2月18日(土)	84人

## 3 その他事業

項目	事業概要
指定天然記念物の保存処置 (ナラ枯れ対策)	ナラ枯れ被害防止対策として薬剤散布を実施 (都指定天然記念物「平久保のシイ」、市指定天然記念物「スダジイ」(連光寺八坂神社内)、市指定天然記念物「スダジイ」(一本杉公園内))
文化財関連記録撮影	市内で実施した事業等の記録撮影を2件実施

# 事業カルテ ( 4年度決算 )

教育振興課

10-05-01-639

埋蔵文化財発掘調査事業

## ◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	文化財保護法			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち				
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり			
	施策	3	文化の継承と創造			
	関連する施策	-	-	-	-	-
関連する個別計画	第二次多摩市教育振興プラン					
関連する報告書など	多摩市の教育					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	昭和52(1977)年度、市道の新設・拡幅整備に伴う発掘調査が必要となったことから事業開始。平成8(1996)年度には市職員が直接発掘調査を行う体制から、民間企業による試掘調査・本調査等を開始し、職員は調査を指導助言する体制に改めた。また、開発、工事等に伴う埋蔵文化財発掘の調整・協議件数が年々増加しており、対応の充実を図った。					

## ◇令和4年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和4年度の目標	開発等に伴い現地保存ができず消失してしまう市内の埋蔵文化財を記録保存し、地域の歴史資料として後世に継承することを目的とする。令和4(2022)年度は、民間の各種開発、個人住宅建築等に伴う試掘調査・確認調査及び本調査11箇所程度を想定している。
予算の執行方法	消耗品費、発掘調査業務支援委託料
事業の成果	令和4年度は、民間の各種開発、個人住宅建築等に伴う試掘確認調査を16箇所実施した。発掘調査を行うことで、開発等により消失してしまう埋蔵文化財の記録保存を図った。

## ◇事業にかかる費用

区 分	平成30年度(決)	令和元年度(決)	令和2年度(決)	令和3年度(決)	令和4年度(決)	
決算額(単位:千円)	8,217 千円	10,373 千円	10,514 千円	10,146 千円	5,710 千円	
事業にかかる実コスト	16,618 千円	18,955 千円	16,597 千円	12,631 千円	8,200 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	3,725 千円	4,660 千円	4,799 千円	4,686 千円	2,500 千円
	都支出金	875 千円	1,125 千円	1,246 千円	1,243 千円	1,250 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	3,617 千円	4,588 千円	4,469 千円	4,217 千円	1,960 千円
	間接経費					
職員人件費	8,401 千円	8,582 千円	5,274 千円	2,485 千円	2,490 千円	
《従事人員数》	1.00 人	1.00 人	0.63 人	0.30 人	0.30 人	
その他の人件費	0 千円	0 千円	809 千円	0 千円	0 千円	

## ◇成果指標

指標の種類	指標について		令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標 (アウトプット)	市内の埋蔵文化財包蔵地における土木工事等に伴う埋蔵文化財発掘の届出件数	目標	100件	100件	100件
		結果	133件	180件	—
成果指標 (アウトカム)	試掘調査や本発掘調査は民間の開発状況に左右されるため、成果指標は未設定とする。	目標	—	—	—
		結果	—	—	—

特記事項

—

## ◇自己点検

成果 推移 指標	今後の見通し		方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量 的	財 源 般		
B	B	B	イ	近年、開発に伴う埋蔵文化財発掘の届出件数が増加し、それに伴い試掘調査費用と職員の作業量が年々増加している。

10-05-01-639

## 埋蔵文化財発掘調査事業

## ◇ 執行状況及び成果等

埋蔵文化財包蔵地内での工事の実施に際し事前に事業者から届出がなされ、工事が遺跡に及ぼす影響や遺跡の状況に応じて、適切な指導を実施する。事業費は主に埋蔵文化財包蔵地への対応を判断するために実施する試掘調査と営利を伴わない個人住宅工事に伴う本発掘調査の調査支援業務委託料を執行している。なお令和4年度、本発掘調査の実施はなかった。

## 1 平成30年度から令和4年度までの発掘届出数の推移

年度	30	元	2	3	4
届出数	140件	139件	99件	133件	180件

## 2 令和4年度の発掘届出内訳

指導内容	試掘調査	立会調査	慎重工事	合計
届出数	16件	80件	84件	180件

## 試掘調査:

埋蔵文化財の有無と工事の遺構等への影響を判断するために実施する試し掘りの調査。

## 立会調査:

工事の掘削深度が浅い場合、小規模工事の場合等に、基礎工事時の掘削に立会う簡易的な調査。

## 慎重工事:

すでに事前調査を実施した地域や削平された地域であるが、埋蔵文化財包蔵地であるため慎重に工事することを指導する。

## 3 令和4年度試掘調査一覧

No.	工事内容	所在地(多摩市)	調査形態
1	個人住宅	一ノ宮4丁目	委託
2	分譲住宅	連光寺3丁目	委託
3	個人住宅	百草	委託
4	個人住宅	和田	職員実施
5	宅地造成	東寺方1丁目	委託
6	高齢者福祉施設	和田	委託
7	個人住宅	東寺方	委託
8	宅地造成	和田	委託
9	個人住宅	桜ヶ丘1丁目	委託
10	宅地造成	百草	委託
11	個人住宅	一ノ宮1丁目	委託
12	宅地造成	和田	委託
13	宅地造成	連光寺2丁目	委託
14	個人住宅	東寺方	委託
15	宅地造成	百草	委託
16	集合住宅兼店舗	一ノ宮4丁目	委託

# 事業カルテ ( 4年度決算 )

教育振興課

10-05-01-640

古民家管理運営事業

## ◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	文化財保護法、多摩市文化財保護条例、多摩市古民家の管理運営に関する条例			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち				
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり			
	施策	3	文化の継承と創造			
	関連する施策	-	-	-	-	-
関連する個別計画	第二次多摩市教育振興プラン					
関連する報告書など	多摩市の教育					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	江戸時代の建物である旧加藤家・旧有山家は昭和63(1988)年、旧富澤家は平成5(1993)年に復元し開館。児童・生徒の体験学習や総合的な学習の場として提供するとともに、生涯学習の場として有効活用できる事業を通じて、郷土の文化に対する市民の理解促進に努めている。旧富澤家がある多摩中央公園は改修整備にあたって公募設置管理制度(Park-PFI)及び指定管理者制度を導入し、旧富澤家は周辺の日本庭園の改修、維持管理・運営業務を対象として位置づけ、指定管理業務を開始する予定である。					

## ◇令和4年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成13年度以前
事業の目的、 令和4年度の目標	市指定文化財である旧有山家の保護・保存を図るとともに、展示施設として公開活用する。旧加藤家、旧富澤家は、展示施設及び古民家の特色を活かした団体活動の場として貸し出す事で、有効活用を図る。また、旧富澤家は公募設置管理制度(Park-PFI)により選定された事業者と維持管理業務の準備を図る。	
予算の執行方法	旧有山家・旧加藤家、旧富澤家の維持管理業務委託料、機械警備業務委託料、展示会等の実施に伴う印刷製本費・消耗品等	
事業の成果	旧富澤家で春・秋に襖絵展、秋にお月見展示を実施した。旧有山家・旧加藤家では市内小学校の社会科見学を実施するとともに、旧加藤家・旧富澤家は団体活動の場として貸し出しを行った。	

## ◇事業にかかる費用

区 分	平成30年度(決)	令和元年度(決)	令和2年度(決)	令和3年度(決)	令和4年度(決)	
決算額(単位:千円)	12,080 千円	12,697 千円	13,369 千円	14,287 千円	15,635 千円	
事業にかかる実コスト	15,440 千円	16,130 千円	16,549 千円	16,772 千円	18,125 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	187 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	115 千円	79 千円	15 千円	38 千円	42 千円
	一般財源	11,778 千円	12,618 千円	13,354 千円	14,249 千円	15,593 千円
	間接経費					
職員人件費	3,360 千円	3,433 千円	2,595 千円	2,485 千円	2,490 千円	
《従事人員数》	0.40 人	0.40 人	0.31 人	0.30 人	0.30 人	
その他の人件費	0 千円	0 千円	585 千円	0 千円	0 千円	

## ◇成果指標

指標の種類	指標について		令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標 (アウトプット)	施設公開、展示会等事業回数	目標	6回	5回	5回
		結果	2回	3回	—
成果指標 (アウトカム)	古民家施設来館者数	目標	45,000人	43,000人	43,000人
		結果	36,378人	36,019人	—

特記事項

—

## ◇自己点検

の 成 推 標 果 移 指	今後の見通し	方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量的 的		財一 源 般
B	B	B	イ

10-05-01-640	古民家管理運営事業
--------------	-----------

## ◇ 執行状況及び成果等

## 1 来館者数

年度	古民家(旧加藤家)		旧富澤家		来館者数計
	開館日数	来館者数	開館日数	来館者数	
30	308日	10,953人	278日	29,875人	40,828人
元	291日	10,987人	266日	25,238人	36,225人
2	254日	10,234人	233日	21,812人	32,046人
3	297日	11,588人	273日	24,790人	36,378人
4	308日	9,408人	284日	26,611人	36,019人

## 2 令和4年度実施事業

No.	事業名	期間	来館者数
1	「襖絵特別公開」(夏)	令和4年7月1日(金)～ 7月31日(日)	1,368人
2	お月見展示	令和4年9月9日(金)～ 9月11日(日)	353人
3	「襖絵特別公開」(秋)	令和4年10月29日(土)～ 11月30日(水)	3,834人



# 事業カルテ ( 4年度決算 )

教育振興課

10-05-01-641

旧多摩聖蹟記念館管理運営事業

## ◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	文化財保護法、多摩市文化財保護条例、旧多摩聖蹟記念館に関する条例				
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち					
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり				
	施策	3	文化の継承と創造				
	関連する施策	-	-	-	-	-	
関連する個別計画	第二次多摩市教育振興プラン						
関連する報告書など	多摩市の教育						
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	<p>旧多摩聖蹟記念館は、昭和5(1930)年6月に竣工し、財団法人多摩聖蹟記念会が管理・運営していたが、昭和61(1986)年に財団から市に建物の寄贈を受け、市が施設を全面改修した後、昭和62(1987)年4月1日に旧多摩聖蹟記念館として開館。これまで日常管理業務に係る業務委託料の見直しや、来館者の少ない月を臨時休館日として位置づける等の見直しを行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成21(2009)年度 外壁の補修工事を実施</li> <li>令和4(2022)年6月 (一社)ドコモモ・ジャパン「日本におけるモダン・ムーブメントの建築264選」選定</li> <li>令和4(2022)年度 内部塗装・間接照明器具交換工事実施</li> </ul>						

## ◇令和4年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成13年度以前
事業の目的、 令和4年度の目標	市指定文化財として保護・保存し、展示・見学施設、貸ギャラリーとして活用することで、郷土の文化に対する市民の理解促進に努め、後世に継承することを目的として事業を実施する。施設の保存・活用とともに、企画展の開催、記念館広報誌の発行、多摩市植物友の会との共催による自然観察会等を実施し、施設のPRに努め、来館者の増加と記念館の魅力向上を図る。	
予算の執行方法	専門員報酬、印刷製本費、総合管理業務委託料、施設維持管理費(光熱水費、保険、消耗品)等	
事業の成果	令和4年度は、内部天井・側面壁の塗装、間接照明器具交換など、内部の維持補修工事を実施した。また、企画展の開催、記念館広報誌の発行、多摩市植物友の会との共催による自然観察会等を実施して施設のPRに努め、来館者の増加と記念館の魅力向上を図った。	

## ◇事業にかかる費用

区 分	平成30年度(決)	令和元年度(決)	令和2年度(決)	令和3年度(決)	令和4年度(決)
決算額(単位:千円)	8,053 千円	10,750 千円	9,296 千円	10,312 千円	15,896 千円
事業にかかる実コスト	11,311 千円	13,988 千円	11,613 千円	13,536 千円	19,502 千円
内 訳	直接経費				
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	310 千円	241 千円	140 千円	199 千円
	一般財源	7,743 千円	10,509 千円	9,156 千円	10,113 千円
間接経費					
職員人件費	1,680 千円	1,716 千円	502 千円	2,153 千円	
《従事人員数》	0.20 人	0.20 人	0.06 人	0.26 人	
その他の人件費	1,578 千円	1,522 千円	1,815 千円	1,071 千円	

## ◇成果指標

指標の種類	指標について		令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標 (アウトプット)	施設公開・見学、展示会・講座等事業回数	目標	12回	12回	12回
		結果	12回	15回	—
成果指標 (アウトカム)	事業・施設来場者数	目標	22,000人	22,000人	22,000人
		結果	13,562人	8,232人	—

特記事項

—

## ◇自己点検

の 成 果 指 標 の 推 移	今後の見通し		方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	ニ ー 量 的	財 一 源 般		
B	B	B	イ	内部改修工事に伴う臨時休館のため、来館者数が目標値を大きく下回っている。今後は展示会の開催等を通じて施設の魅力発信に努め来館者数の増加を図りたい。

10-05-01-641

## 旧多摩聖蹟記念館管理運営事業

## ◇ 執行状況及び成果等

## 1 来館者数

年度	開館日数	来館者数
30	238日	22,110人
元	223日	32,354人
2	192日	21,423人
3	228日	12,598人
4	186日	8,232人 ※

※令和4年度は、館内の内部塗装工事のため、令和4年12月1日(木)から令和5年2月28日(火)まで休館し、ギャラリーの貸出も中止した。

## 2 令和4年度実施事業

No.	事業名	期間	来館者数
1～10	自然観察会(10回) 8月・9月を除く毎月第1火曜日	令和4年4月～令和5年3月	延517人
11	常設展「旧多摩聖蹟記念館 いま×むかし」	令和4年4月23日(土)～7月3日(日)	2,307人
12	夏季企画展「春夏秋冬」	令和4年7月16日(土)～9月19日(月)	899人
13	夏の子ども昆虫観察会 (環境政策課と共催)	令和4年7月30日(土)	13人
14	秋季企画展「近代の和歌と書」	令和4年10月1日(土)～11月20日(日)	1,948人
15	春季企画展 「生誕180年 田中光顕」	令和5年3月18日(土)～8月31日(木)	765人 ※

※事業No.15の来館者数は令和5年3月18日(土)～31日(金)の人数